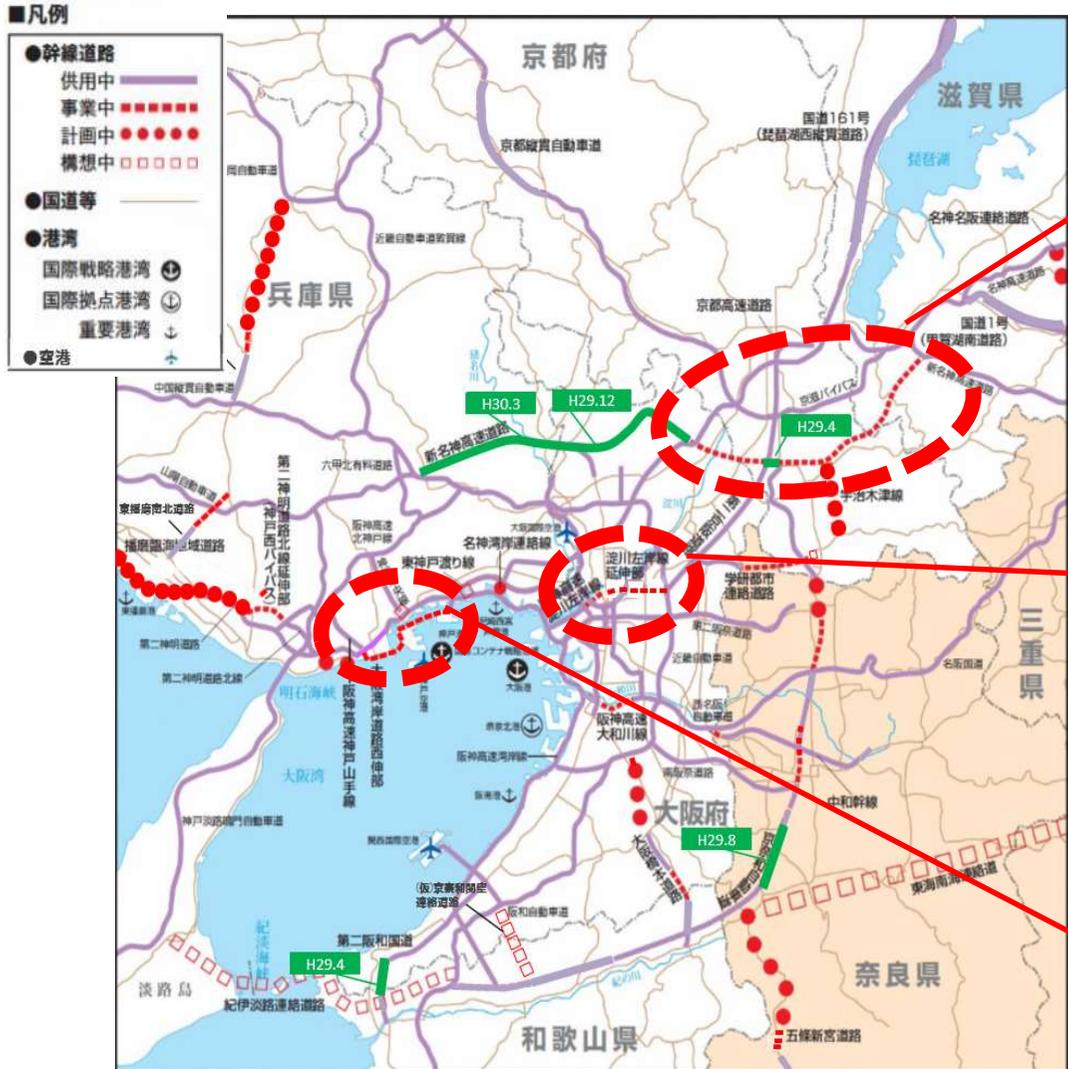


近畿の産業を取り巻く状況

大阪湾背後圏の製造品出荷額等（産業別内訳）について

○ 大阪湾周辺の道路ネットワークは、新名神高速道路の開通（2018年）などミッシングリンク解消に向けた整備が進んでいる。また、神戸港を横断する大阪湾岸道路西伸部も事業中となっている。



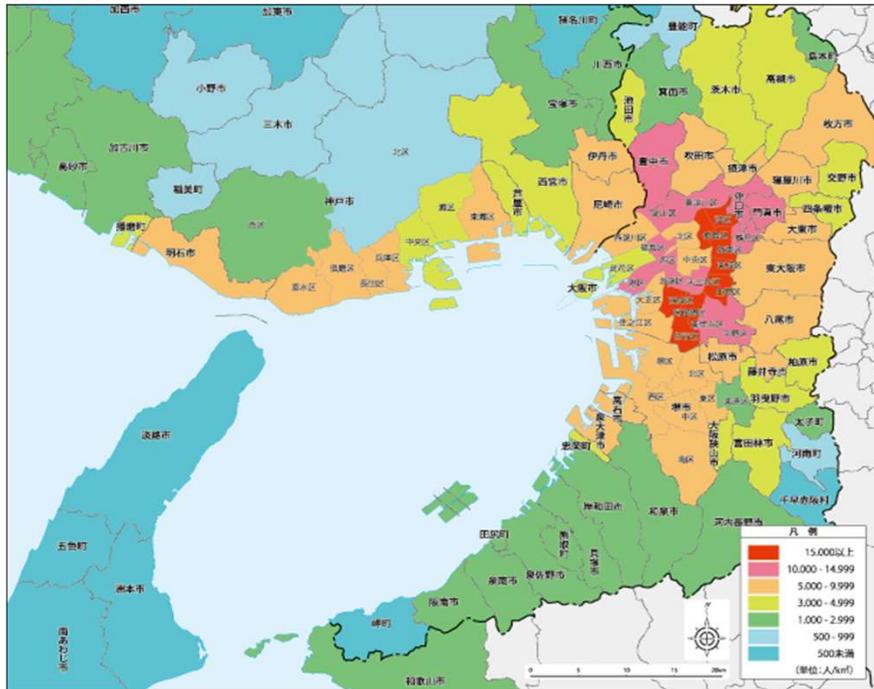
出典：関西広域連合広域インフラ検討会「広域インフラマップ」※H30.3.31時点



近畿2府4県の人口推移

- 大阪湾諸港の背後圏である近畿2府4県は、首都圏に次ぐ人口が集積しており、大阪市、神戸市、京都市、堺市等の政令市を中心として幅広く人口が分布している。
- 近畿2府4県の総人口は2005年頃をピークに減少に転じており、15歳から64歳の生産年齢人口は2040年には2010年比で3～4割程度減少することが見込まれている。

大阪湾の市区町村別の人口密度



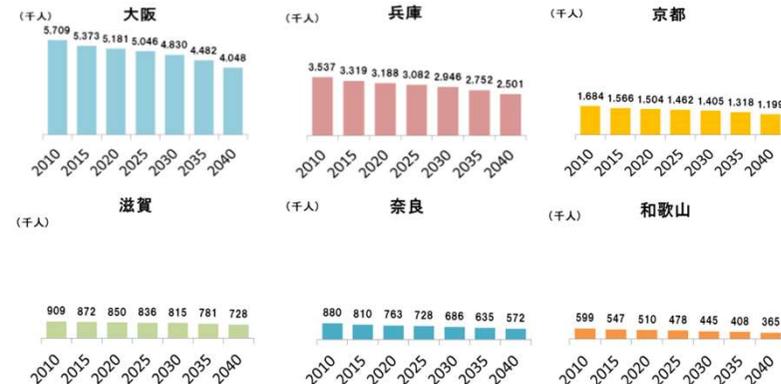
上図資料：総務省 平成27年国勢調査

関西6府県 総人口の長期推移



資料：総務省国勢調査、補完人口

都道府県別 生産年齢（15～64歳）人口の長期推移

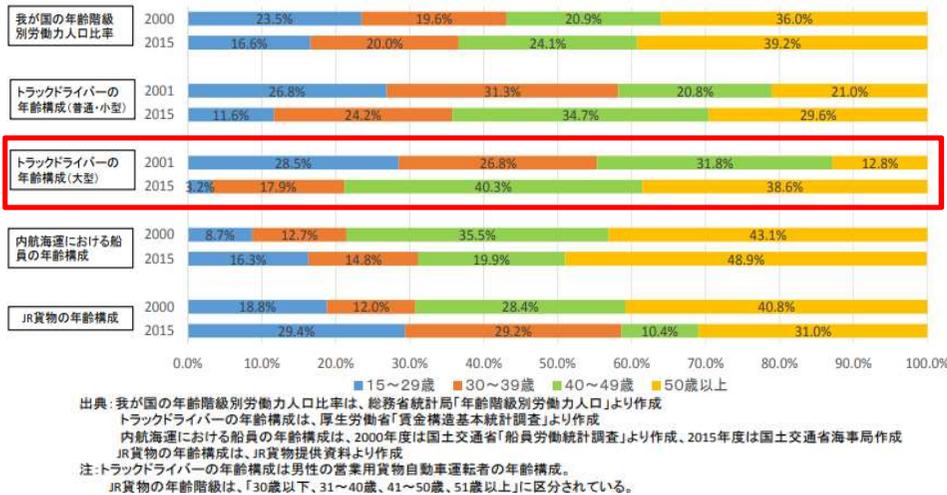


資料：総務省国勢調査、補完人口

右図資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集 2018年版」より作成

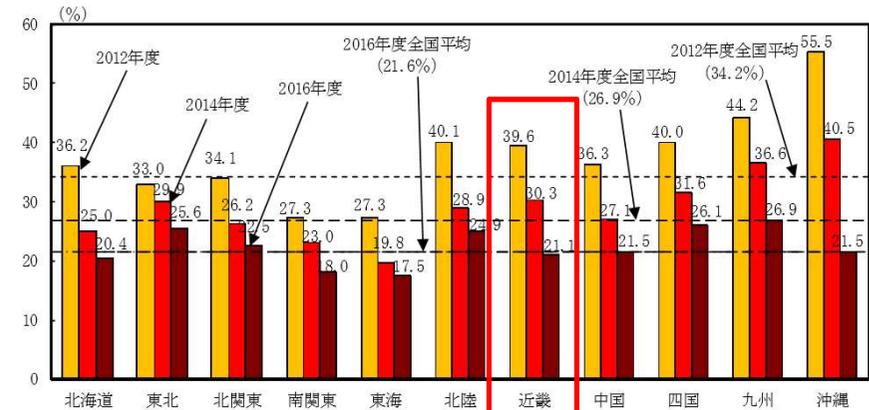
- 生産年齢人口の減少等により、物流分野では、トラックドライバー、内航船員を中心に担い手不足・高齢化が深刻化している。
- 特に、コンテナ車両を運転する大型車のトラックドライバーは担い手不足が深刻化しており、ドライバーの高齢化が顕著である。
- 近畿地方は貨物自動車運転手の充足率が全国平均を下回っており、担い手確保が課題となっている。

物流分野における労働力人口の年齢構成比の推移



出典：国土交通省「第1回総合物流施策大綱に関する有識者検討会」参考資料1

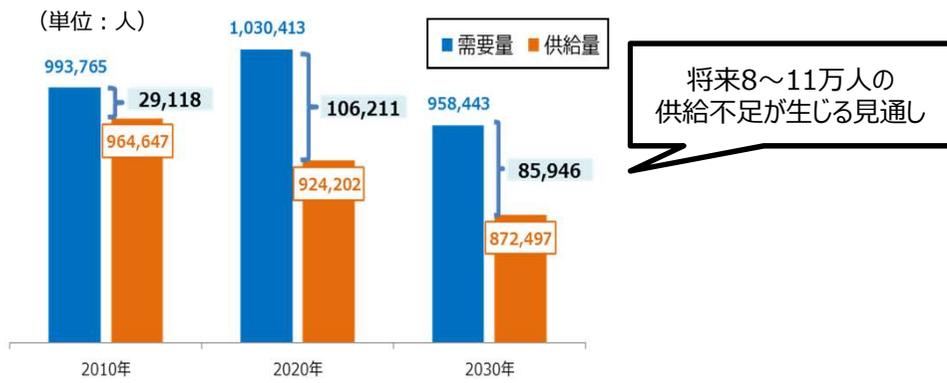
地域別貨物自動車運転手の充足率



- (備考) 1. 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。
 2. 充足率は、「充足数」を「新規求人数」で除して算出。
 3. 北関東に山梨県と長野県を含み、北陸に新潟県を含んでいる。

出典：内閣府「地域の経済2017」

トラックドライバーの全国需給見通し



出典：(公社)鉄道貨物協会「平成25年度 本部委員会報告」(2015年)より作成

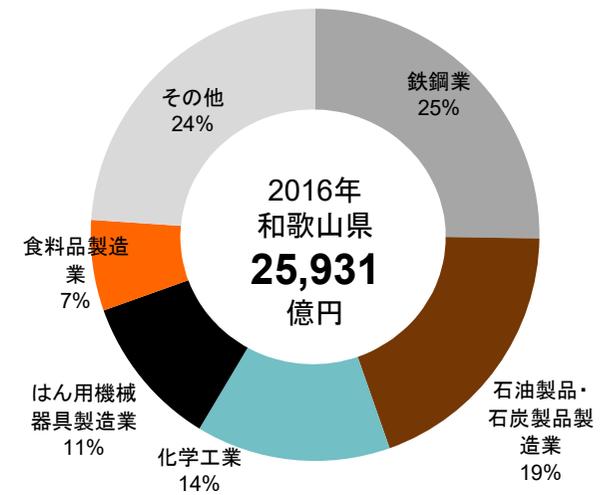
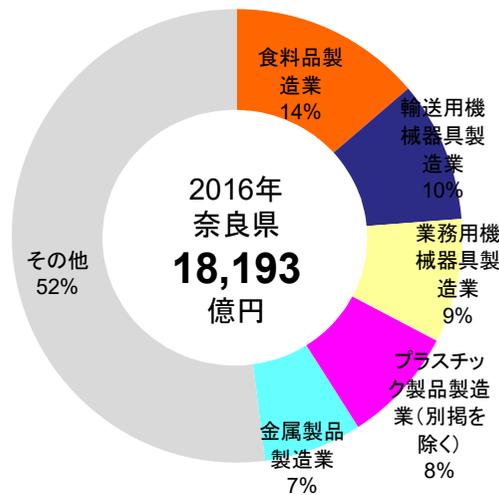
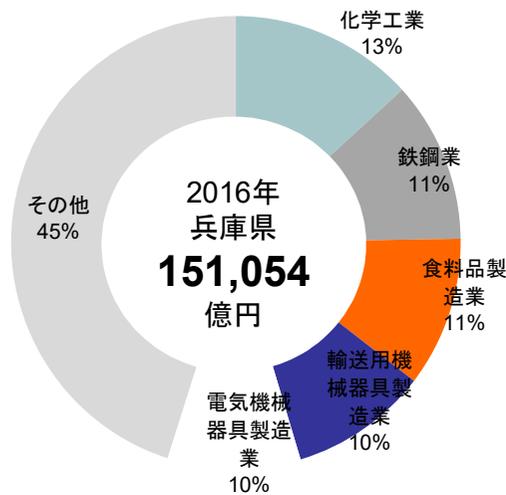
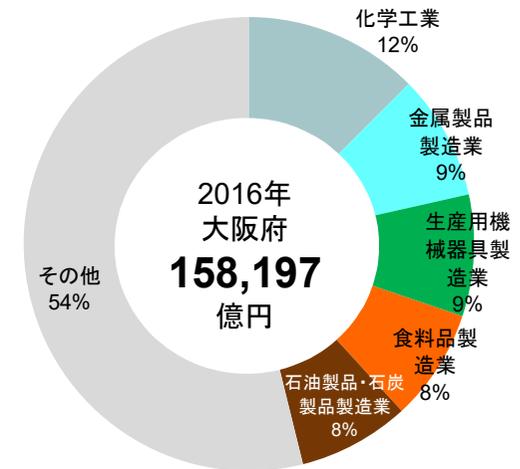
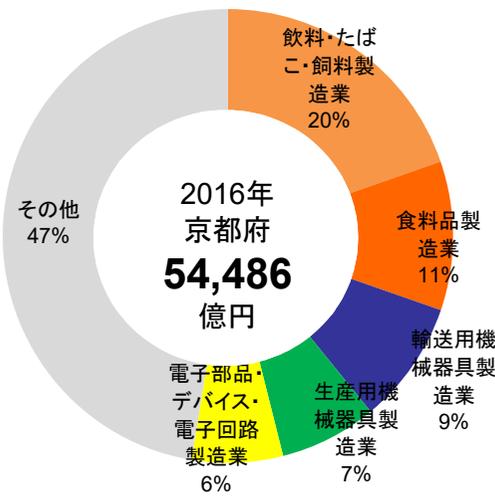
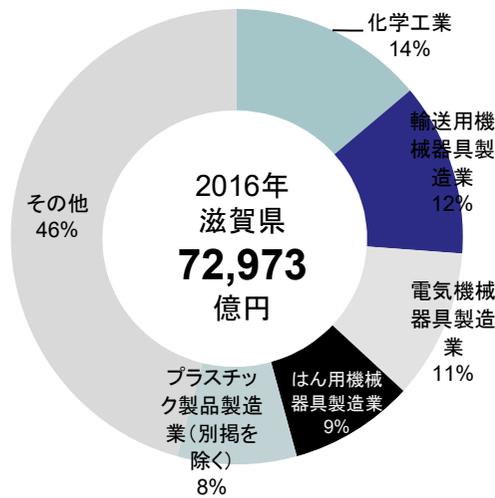
わが国の内航船員の年齢構成



出典：日本内航海運組合総連合会HP

大阪湾背後圏の製造品出荷額等（産業別内訳）について

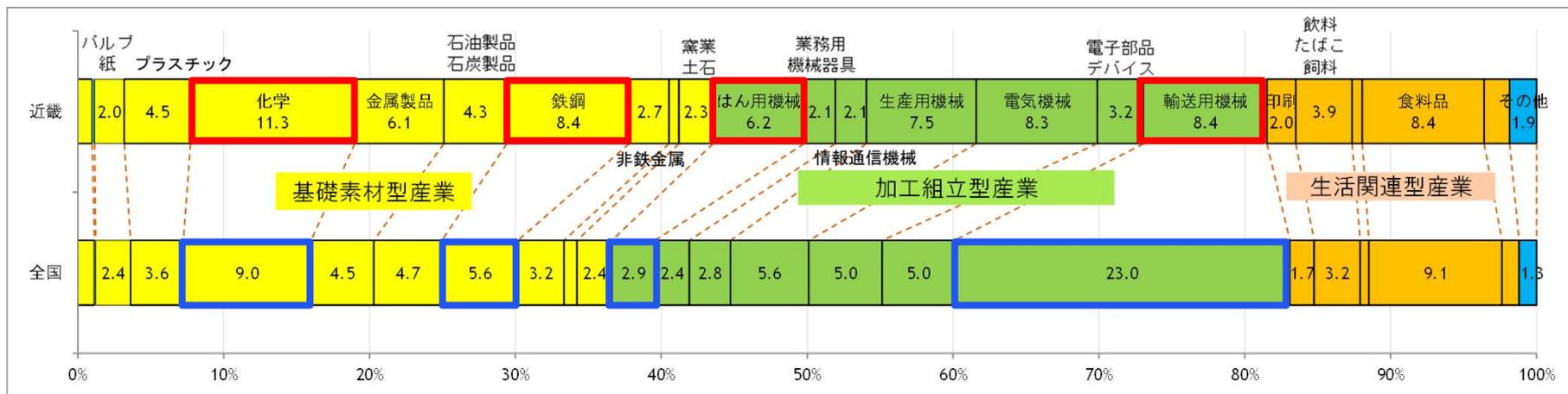
- 大阪府、兵庫県、滋賀県などで化学工業が盛んである。
- 滋賀県以外では食料品製造業が上位となっている。



出荷額からみた近畿地方の製造業の特徴

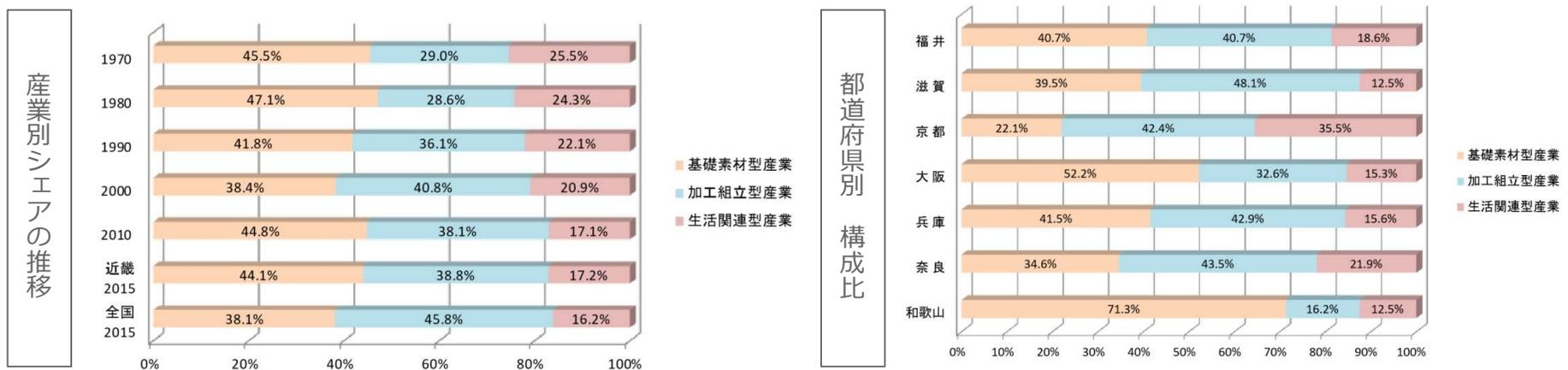
- 近畿地方の製造業の特徴として、化学、鉄鋼等の基礎素材型産業や、汎用機械の生産額割合が全国と比較して高いことが挙げられる。
- 近畿圏では加工組立型産業のシェアが高まりつつあり、特に滋賀県、兵庫県、奈良県、京都府などでシェアが高い。

近畿圏の産業別 製造品出荷額等シェアの全国比較



資料：総務省・経済産業省「平成24年経済センサス 活動調査」より作成

近畿圏における加工組立型産業のシェアの高まり

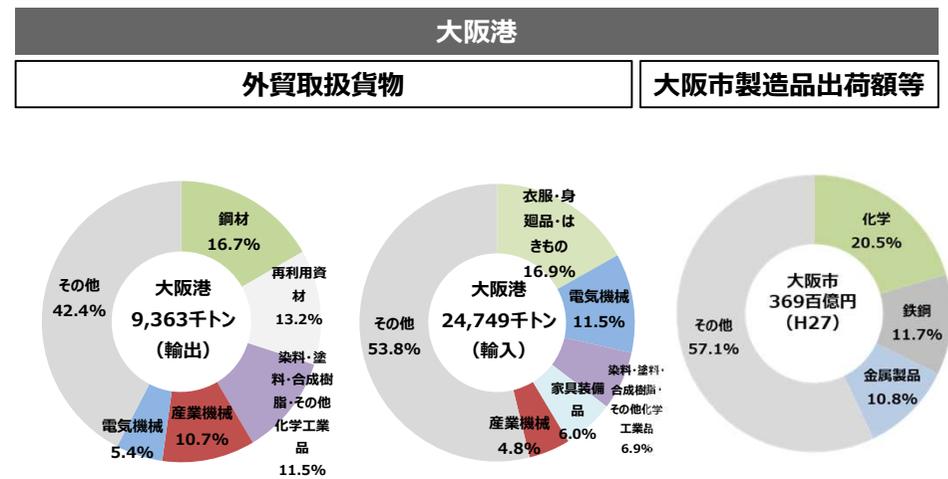
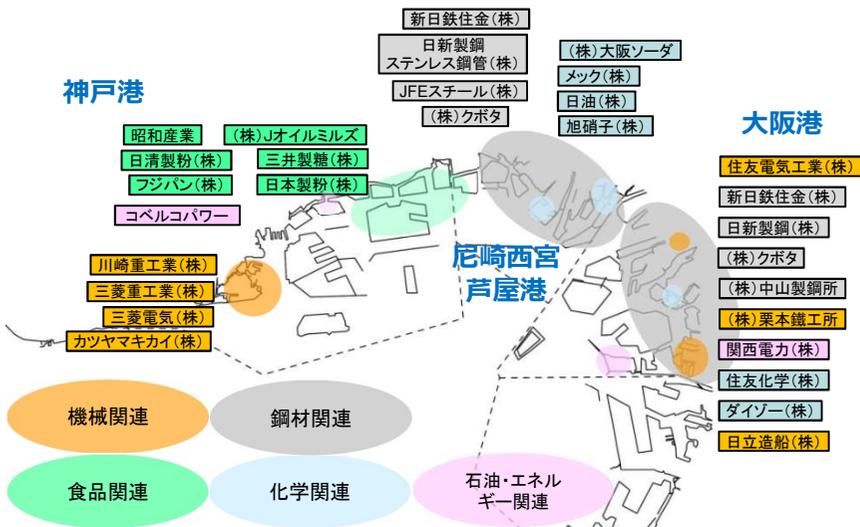
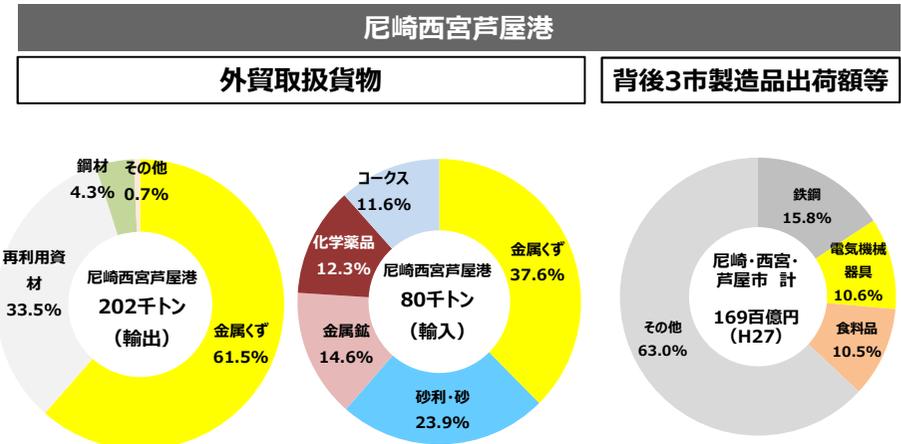
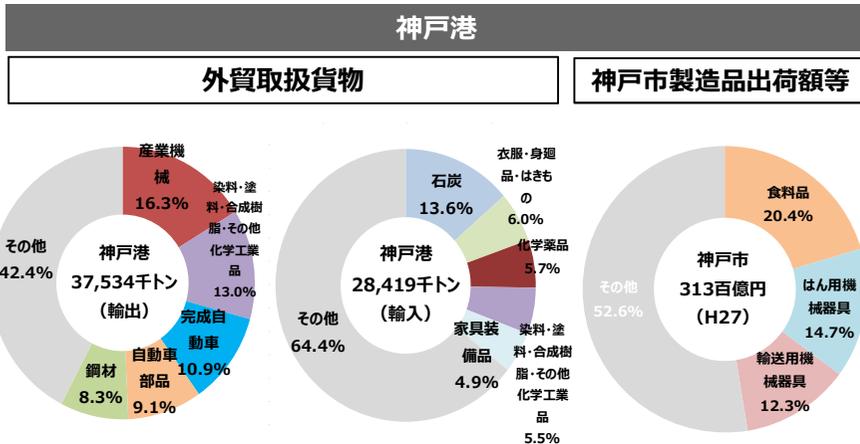


出典：近畿経済産業局「近畿経済の概要」

※製造品出荷額等とは、製造品出荷額に加工賃収入額、その他収入額及び製造工程からでたくず及び廃物の出荷額を合計したものを示す。

大阪湾港湾の外貿取扱貨物と直背後の産業構造（1）

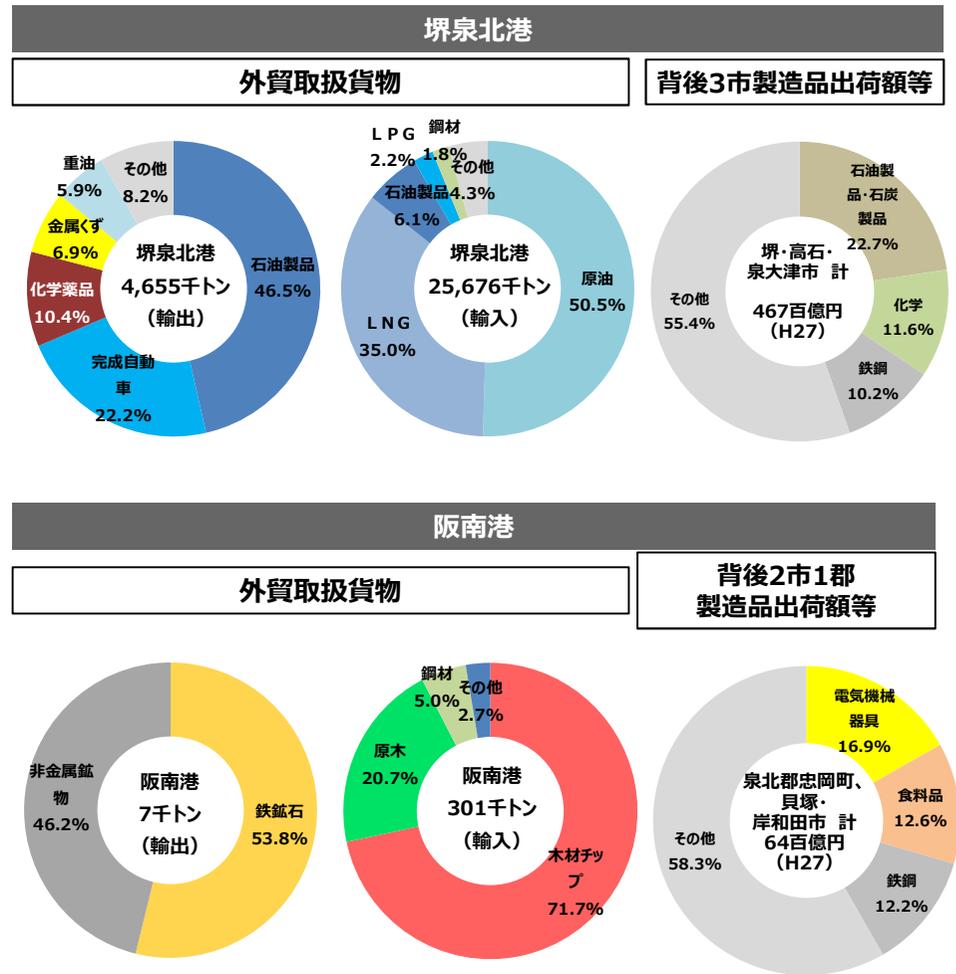
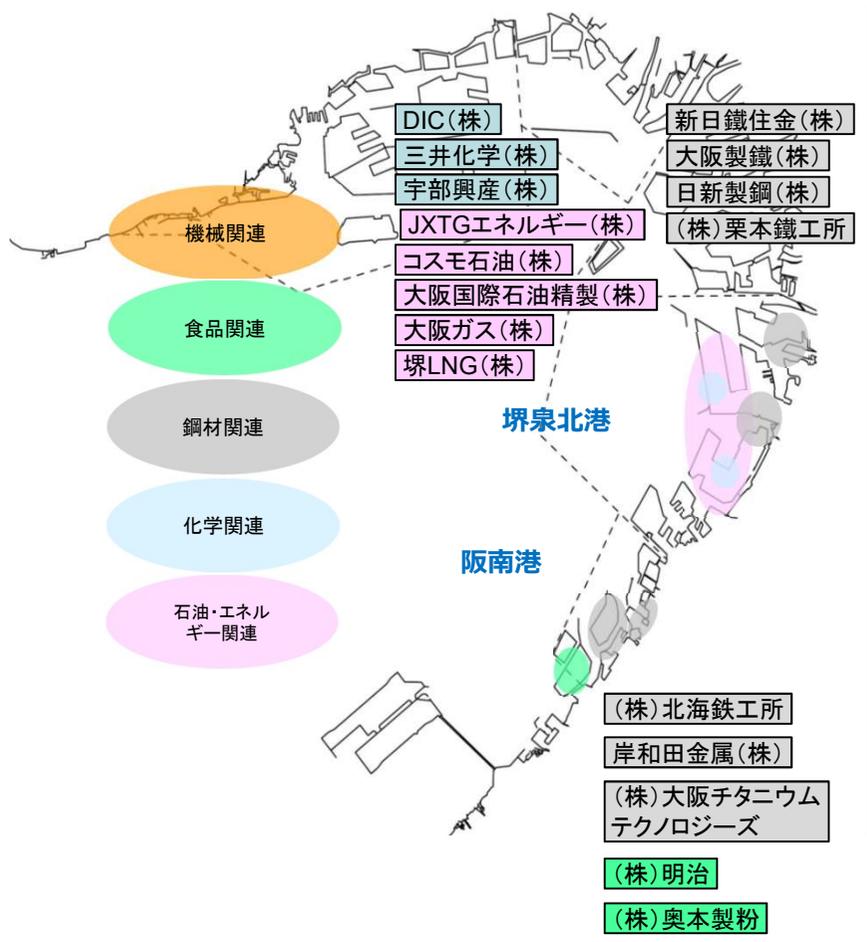
- 神戸港は産業機械や化学工業品等の輸出が多い。また背後の神戸市は食料品、汎用機械製造業が盛んである。
- 尼崎西宮芦屋港は金属くずの取扱が多い。背後3市（尼崎・西宮・芦屋市）は鉄鋼業が盛んである。
- 大阪港は鋼材の輸出や衣類・電気機械の輸入が多い。また背後の大阪市は化学工業、鉄鋼業が盛んである。



資料：国土交通省「港湾統計年報」（2016年）、経済産業省「工業統計年報」（2015年）より作成

大阪湾港湾の外貿取扱貨物と直背後の産業構造（2）

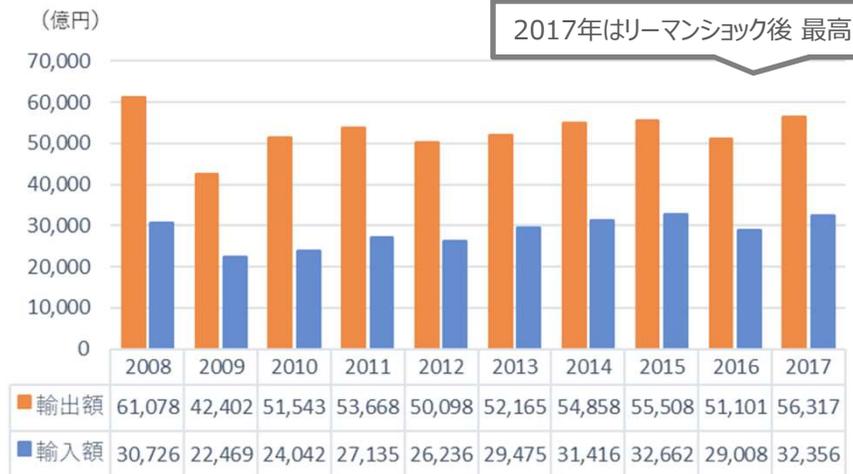
- 堺泉北港は石油製品の輸出や原油・LNGの輸入が多い。また背後3市（堺・高石・泉大津市）は石油・石炭製品、化学工業が盛んである。
- 阪南港は鉄鉱石の輸出、木材チップの輸入が多い。また背後2市1町（貝塚・岸和田市、泉北郡忠岡町）は電気機械器具製造業が盛んである。



資料：国土交通省「港湾統計年報」（2016年）、経済産業省「工業統計年報」（2015年）より作成

- 阪神港の貿易額は、2017年にリーマンショック後最高（大阪港は過去10年最高）を記録した。
- 堺泉北港や和歌山下津港などは2014年以降にやや減少している。

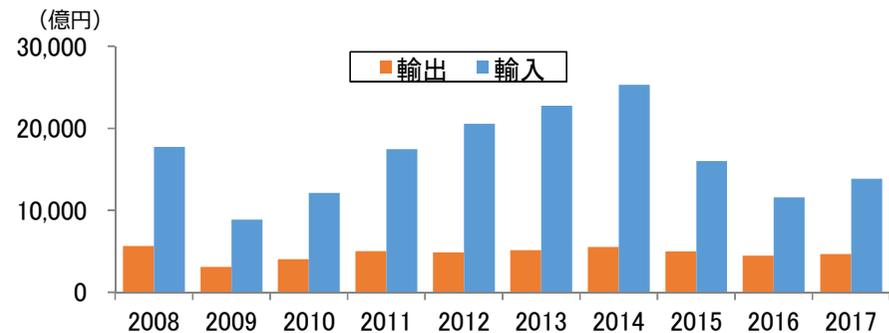
神戸港の貿易額推移



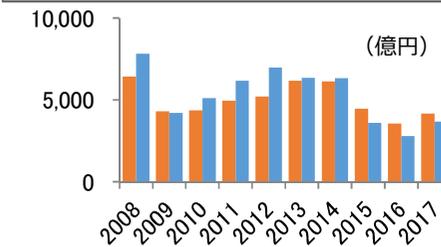
大阪港の貿易額推移



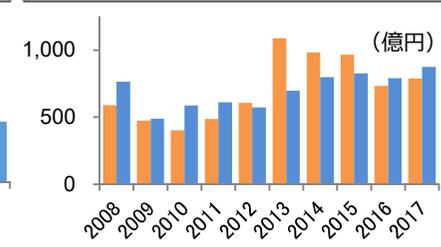
堺泉北港の貿易額推移



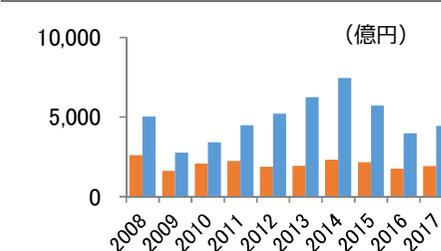
和歌山下津港の貿易額推移



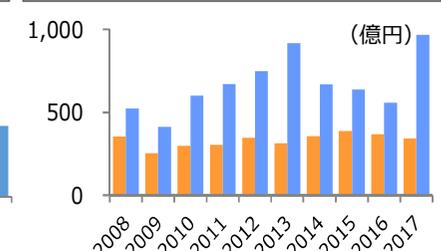
尼崎西宮芦屋港の貿易額推移



姫路港の貿易額推移



舞鶴港の貿易額推移

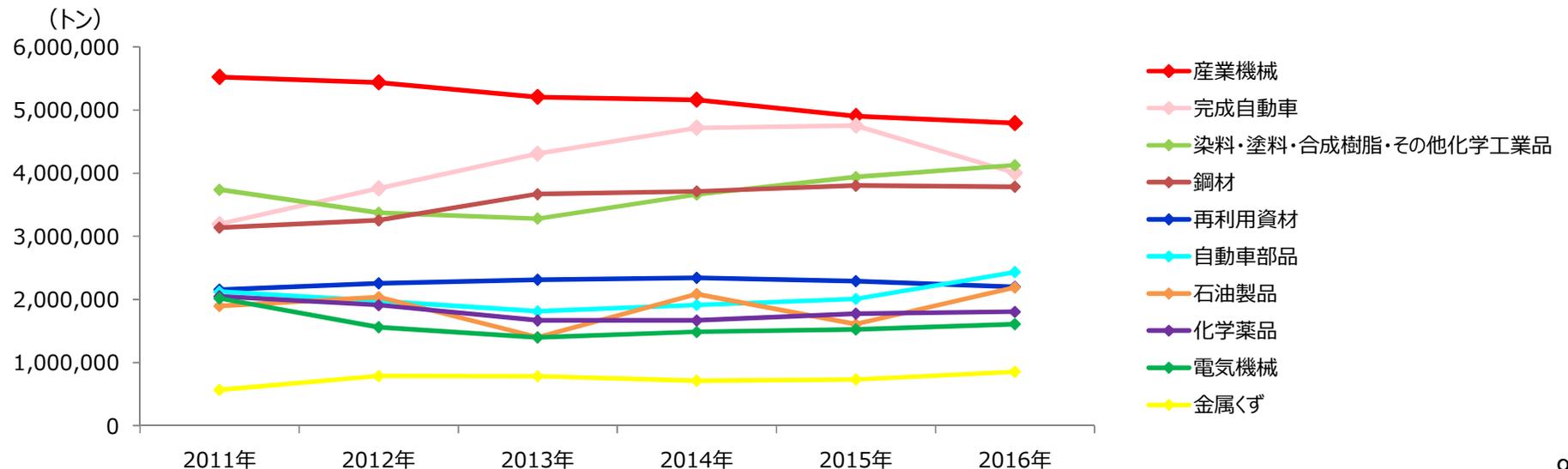


大阪湾港湾の取扱量順 貿易品目の推移（輸出）

- 大阪湾港湾から輸出される品目を重量ベースで見ると、産業機械が最も多く、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品がそれに次いで多い状況が続いている。
- 完成自動車は2012～2015年にかけて大阪湾港湾の輸出第2位であったが、2016年は第3位となっている。

近畿地方港湾の輸出品目トップ10の推移(トンベース)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
1位	産業機械 5,524,077	産業機械 5,437,680	産業機械 5,207,400	産業機械 5,162,766	産業機械 4,904,517	産業機械 4,792,780
2位	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 3,739,512	完成自動車 3,760,417	完成自動車 4,308,123	完成自動車 4,718,252	完成自動車 4,753,841	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 4,126,880
3位	完成自動車 3,193,683	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 3,373,950	鋼材 3,670,415	鋼材 3,713,105	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 3,940,564	完成自動車 4,003,651
4位	鋼材 3,139,764	鋼材 3,254,986	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 3,281,314	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品 3,661,940	鋼材 3,803,183	鋼材 3,785,370
5位	再利用資材 2,154,548	再利用資材 2,256,242	再利用資材 2,312,754	再利用資材 2,344,859	再利用資材 2,291,883	自動車部品 2,432,340
6位	自動車部品 2,123,376	石油製品 2,036,973	自動車部品 1,813,685	石油製品 2,085,746	自動車部品 2,009,757	再利用資材 2,198,253
7位	化学薬品 2,049,725	自動車部品 1,977,780	化学薬品 1,667,445	自動車部品 1,911,676	化学薬品 1,774,345	石油製品 2,190,260
8位	電気機械 2,016,358	化学薬品 1,911,074	電気機械 1,400,215	化学薬品 1,668,593	石油製品 1,606,739	化学薬品 1,804,400
9位	石油製品 1,896,130	電気機械 1,560,263	石油製品 1,399,317	電気機械 1,486,399	電気機械 1,523,718	電気機械 1,609,524
10位	ゴム製品 713,657	金属くず 788,106	金属くず 783,030	金属くず 713,682	金属製品 829,498	金属くず 853,545



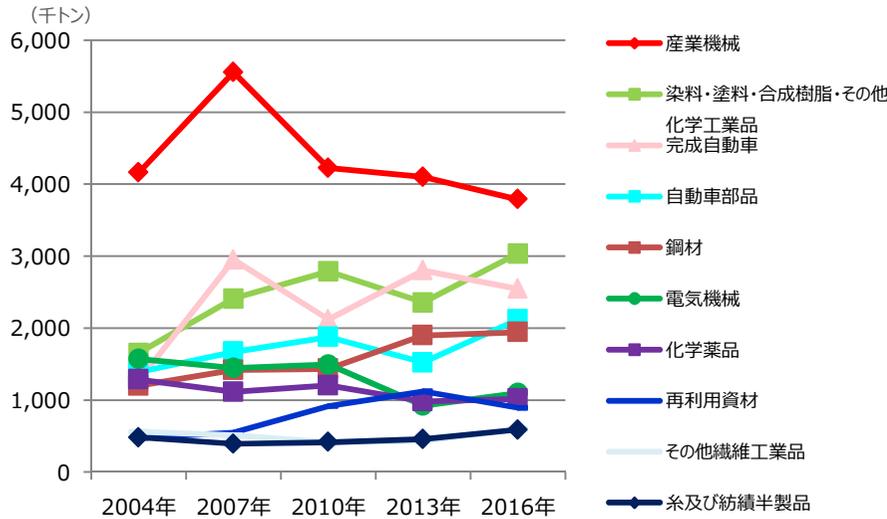
※2016年時点でのトップ10品目の取扱量の推移

資料：国土交通省「港湾統計年報」より作成（甲種港湾のみ）

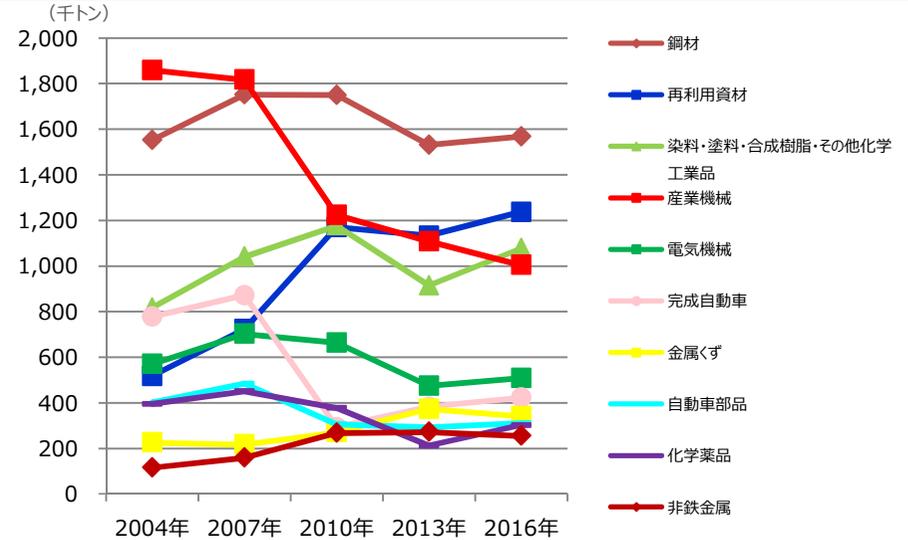
大阪湾港湾の取扱量順 貿易品目の推移（輸出） 港湾別①

- 神戸港から輸出される品目は、産業機械が最も多いがその取扱量やシェアを下げつつある一方で、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品がややシェアを高めている。
- 大阪港では鋼材が輸出の首位を占めるが、近年、輸出品目については大きな変化は見られない。

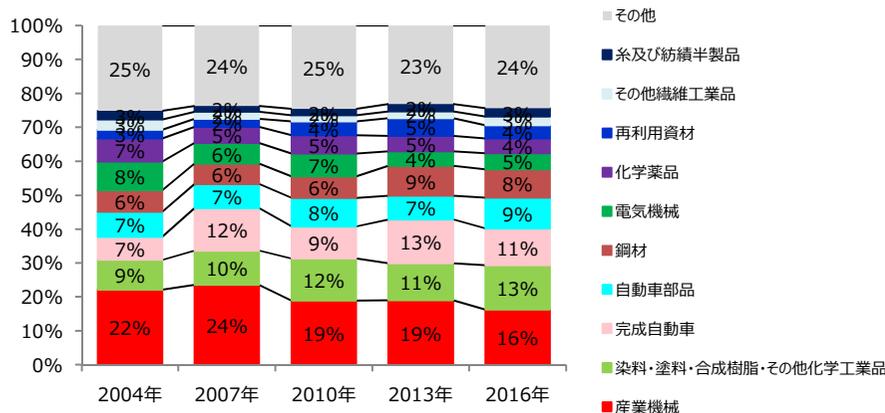
神戸港の輸出品目トップ10の推移（トンベース）



大阪港の輸出品目トップ10の推移（トンベース）

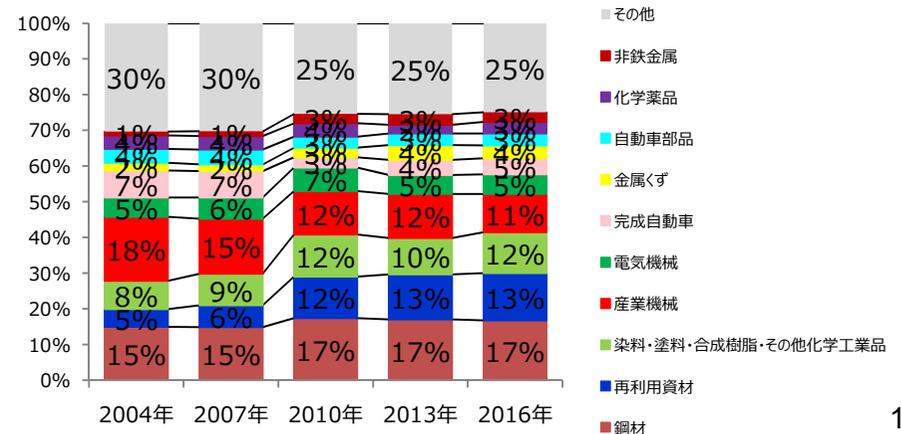


輸出品目取扱量のシェア推移



※2016年時点でのトップ10品目の取扱量の推移

輸出品目取扱量のシェア推移



資料：国土交通省「港湾統計年報」より作成（甲種港湾のみ）

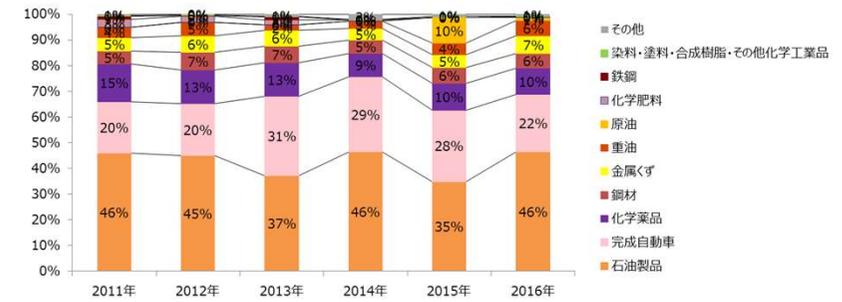
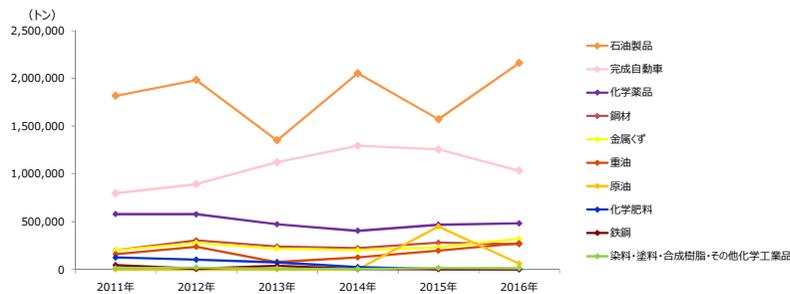
大阪湾港湾の取扱量順 貿易品目の推移（輸出） 港湾別②

- 堺泉北港から輸出される品目は、石油製品が最も多く、完成自動車がそれに次いで多い状況が続いている。
- 尼崎西宮芦屋港から輸出される品目は、金属くずが最も多く、再利用資材がそれに次いで多い状況が続いている。
- 阪南港から輸出される品目は、入れ替わりが激しいが、2015年以降は鉄鉱石の取扱が最も多い。

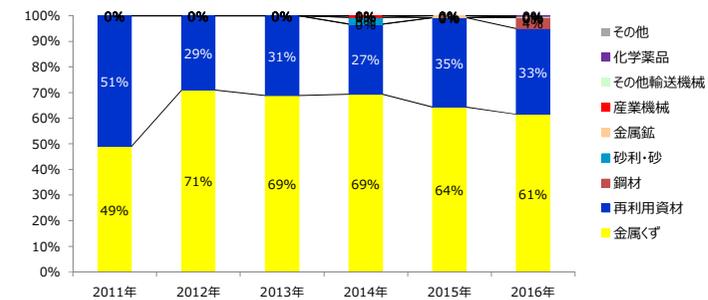
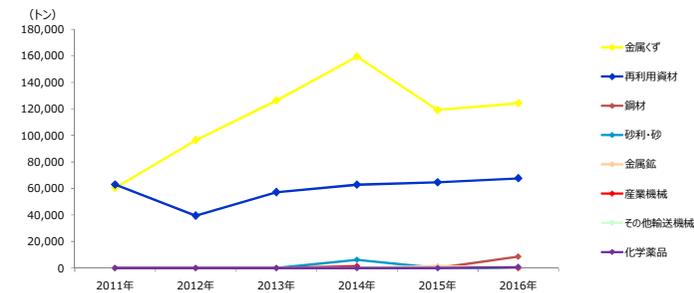
輸出品目トップ10の推移（トンベース）

輸出品目取扱量のシェア推移

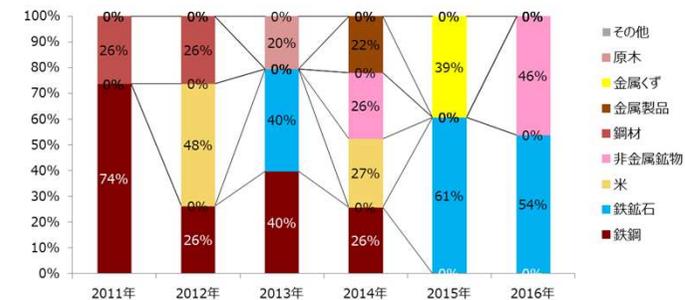
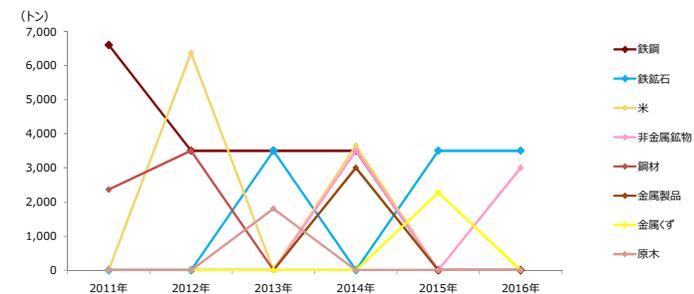
堺泉北港



尼崎西宮芦屋港



阪南港



※2016年時点でのトップ10品目の取扱量の推移

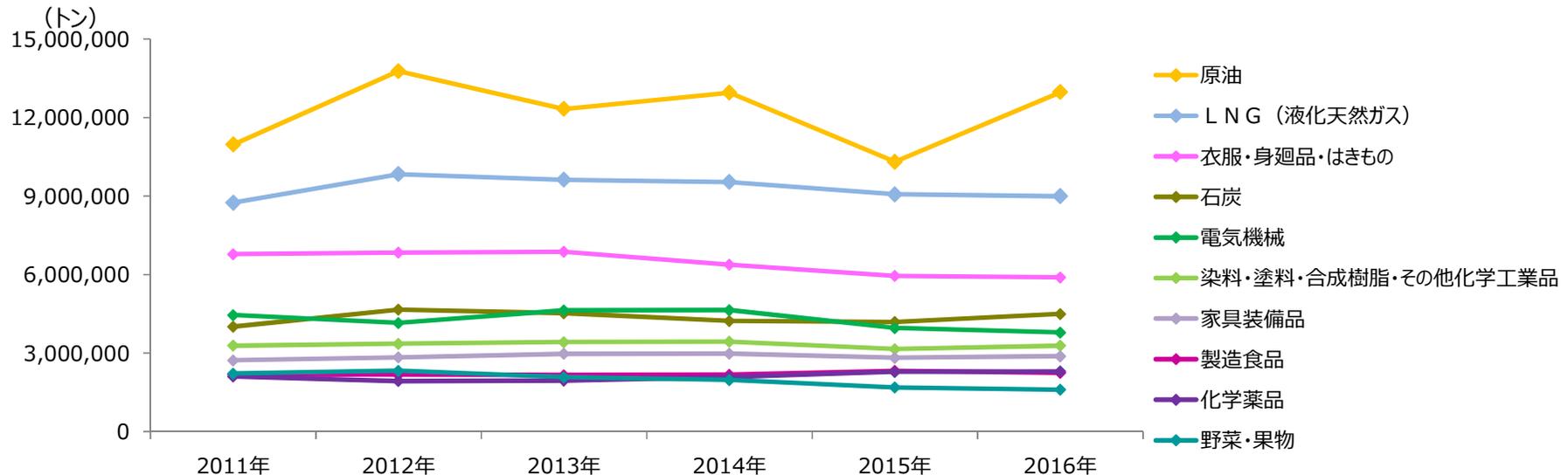
資料：国土交通省「港湾統計年報」より作成（甲種港湾のみ）

大阪湾港湾の取扱量順 貿易品目の推移（輸入）

- 大阪湾港湾の輸入貨物をトンベースで見ると、原油やLNG、石炭といった発電燃料や、衣服・身廻品・はきもの等の消費財が上位を占めている。
- 近年の取扱量ランキングに大きな変動は見られず、安定的に推移している。

近畿地方港湾の輸入品目トップ10の推移(トンベース)

	2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年	
1位	原油	10,969,540	原油	13,773,844	原油	12,330,889	原油	12,954,473	原油	10,314,196	原油	12,970,241
2位	LNG（液化天然ガス）	8,746,957	LNG（液化天然ガス）	9,838,736	LNG（液化天然ガス）	9,626,893	LNG（液化天然ガス）	9,537,365	LNG（液化天然ガス）	9,068,373	LNG（液化天然ガス）	8,996,416
3位	衣服・身廻品・はきもの	6,781,969	衣服・身廻品・はきもの	6,845,913	衣服・身廻品・はきもの	6,873,217	衣服・身廻品・はきもの	6,377,284	衣服・身廻品・はきもの	5,951,674	衣服・身廻品・はきもの	5,897,258
4位	電気機械	4,459,384	石炭	4,664,895	電気機械	4,629,715	電気機械	4,642,550	石炭	4,191,843	石炭	4,495,771
5位	石炭	4,009,509	電気機械	4,155,931	石炭	4,523,623	石炭	4,233,511	電気機械	3,963,104	電気機械	3,784,614
6位	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	3,287,348	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	3,356,161	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	3,425,189	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	3,440,090	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	3,153,874	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	3,283,537
7位	家具装備品	2,726,526	家具装備品	2,836,485	家具装備品	2,971,536	家具装備品	2,980,409	家具装備品	2,821,763	家具装備品	2,880,166
8位	野菜・果物	2,219,807	野菜・果物	2,325,028	製造食品	2,160,377	製造食品	2,182,342	製造食品	2,324,501	化学薬品	2,304,824
9位	製造食品	2,185,316	製造食品	2,182,711	野菜・果物	2,082,295	産業機械	2,119,493	化学薬品	2,289,277	製造食品	2,249,893
10位	化学薬品	2,109,094	産業機械	2,050,641	産業機械	2,047,848	化学薬品	2,081,917	石油製品	1,975,227	製材	1,870,632



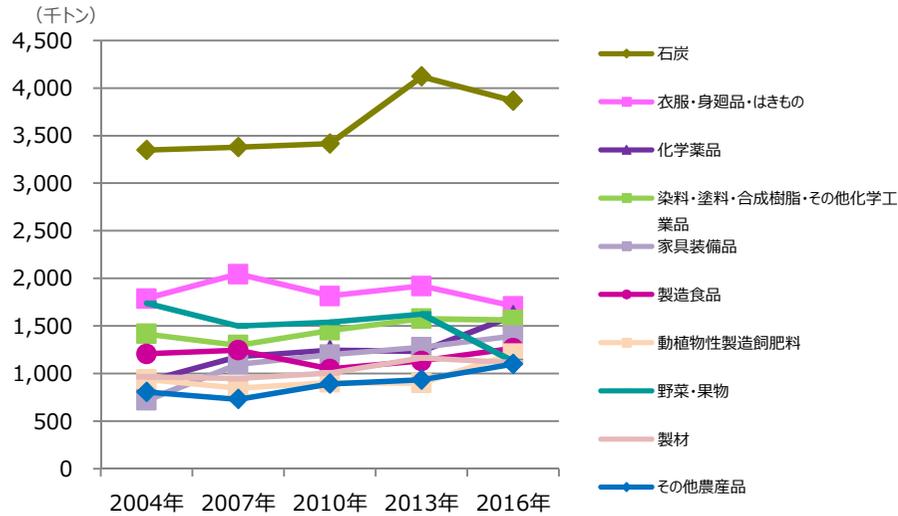
※2016年時点でのトップ10品目の取扱量の推移

資料：国土交通省「港湾統計年報」より作成（甲種港湾のみ）

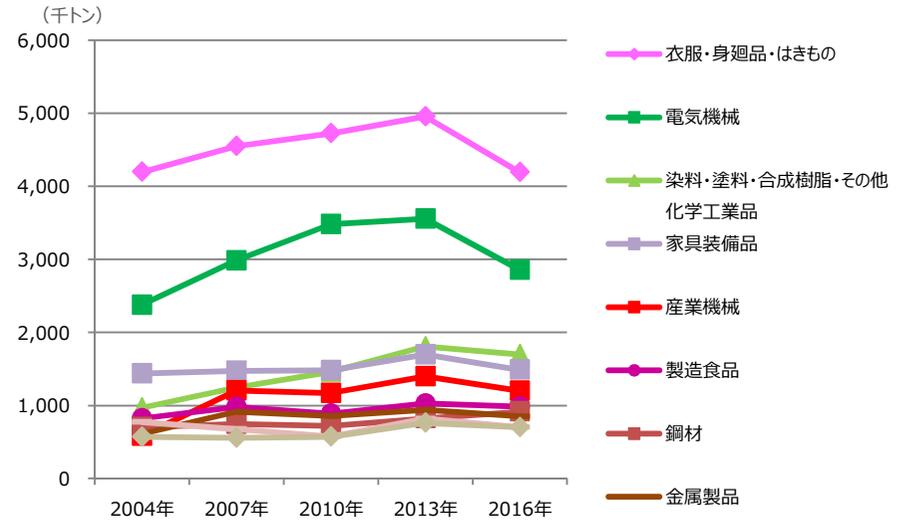
大阪湾港湾の取扱量順 貿易品目の推移 (輸入) 港湾別①

- 神戸港から輸入される品目は、石炭が最も多く、衣服・身廻品・はきものがそれに次いで多い状況が続いている。
- 大阪港から輸入される品目は、衣服・身廻品・はきものが最も多く、電気機械がそれに次いで多い状況が続いている。
- 近年の神戸港では家具装備品が、大阪港では染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が、それぞれややシェアを高めている。

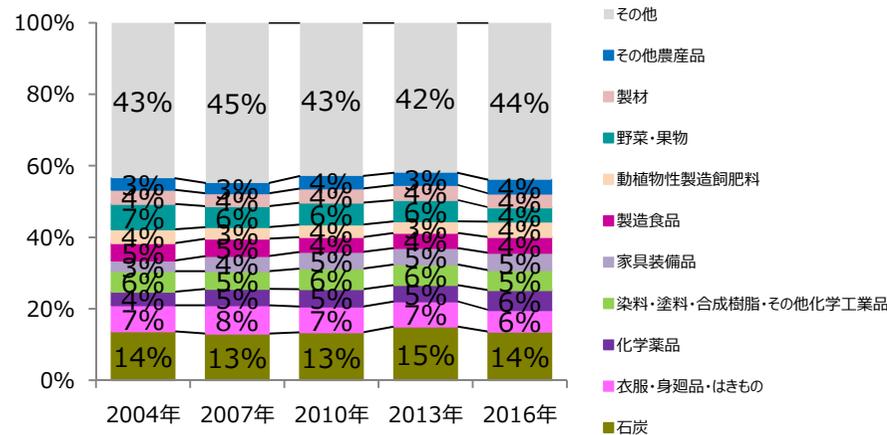
神戸港の輸入品目トップ10の推移(トンベース)



大阪港の輸入品目トップ10の推移(トンベース)

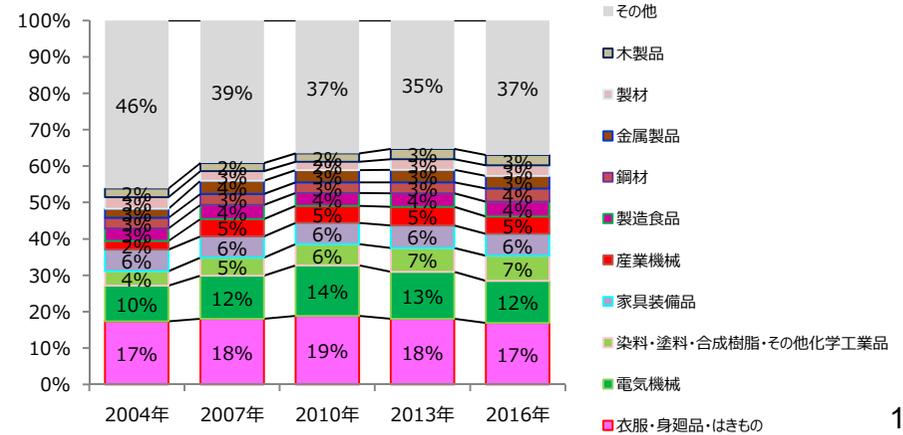


輸入品目取扱量のシェア推移



※2016年時点でのトップ10品目の取扱量の推移

輸入品目取扱量のシェア推移



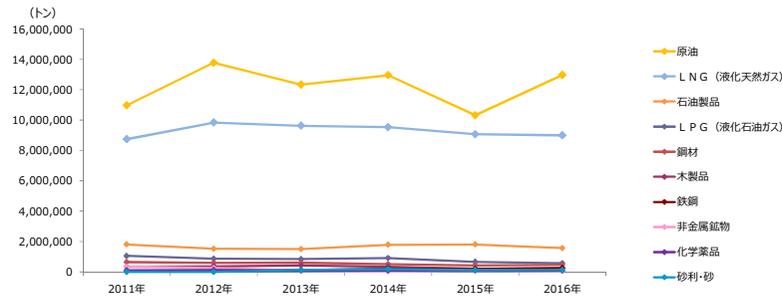
資料：国土交通省「港湾統計年報」より作成（甲種港湾のみ）

大阪湾港湾の取扱量順 貿易品目の推移 (輸入) 港湾別②

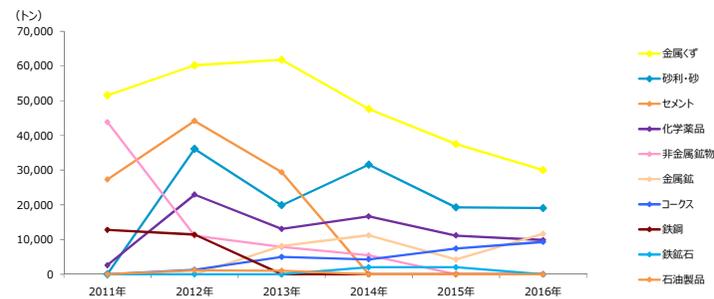
- 堺泉北港から輸入される品目は、原油が最も多く、取扱量シェアも増加傾向にある。
- 尼崎西宮芦屋港から輸入される品目は、金属くずが最も多いが、砂利・砂の取扱量シェアが増加傾向にある。
- 阪南港から輸入される品目は、木材チップが最も多く、取扱量シェアも2012年に原木を逆転し、増加傾向にある。

輸入品目トップ10の推移 (トンベース)

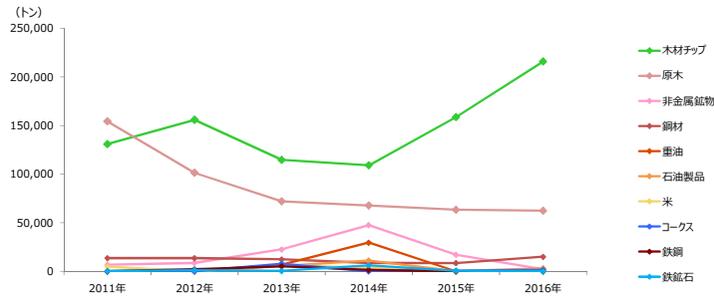
堺泉北港



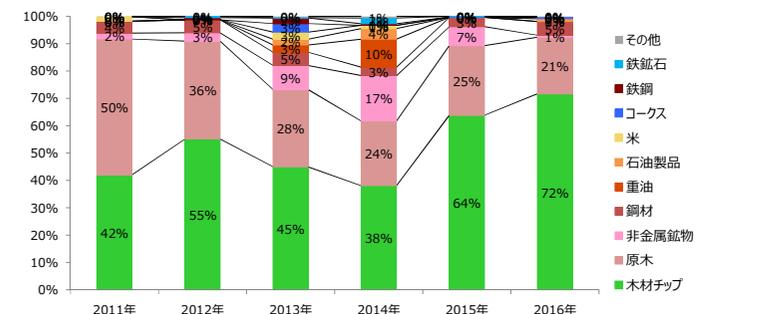
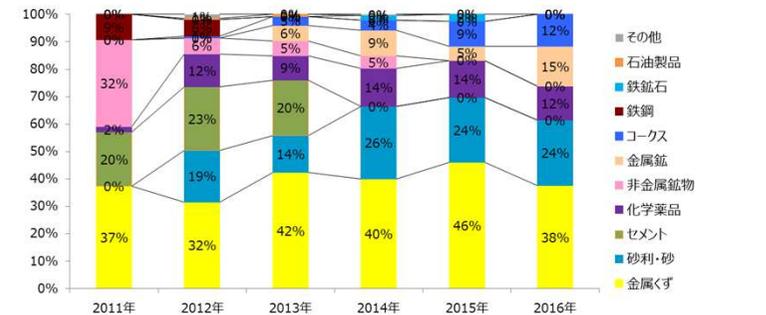
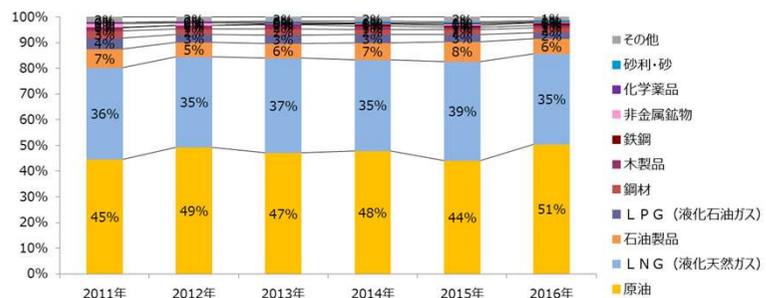
尼崎西宮芦屋港



阪南港



輸入品目取扱量のシェア推移

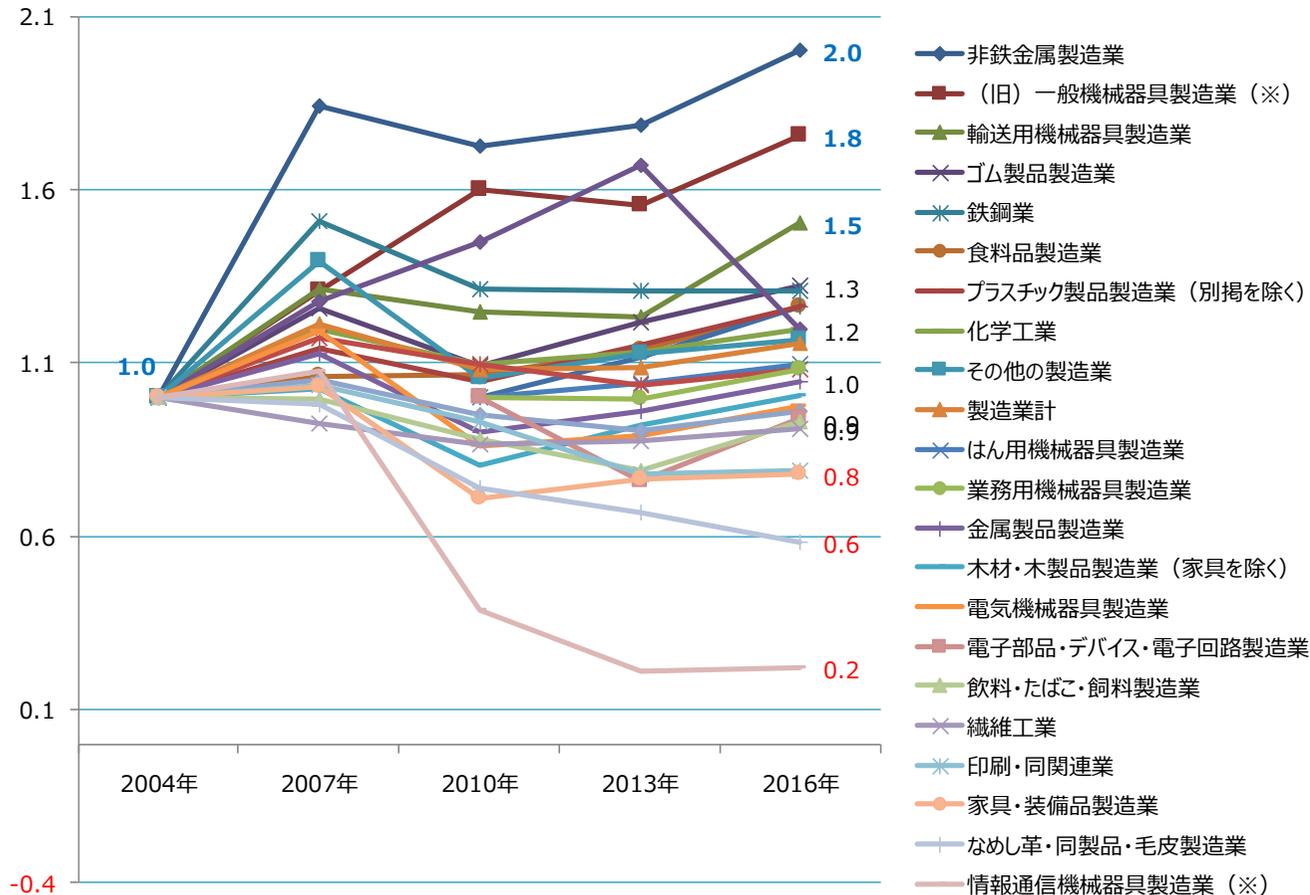


※2016年時点でのトップ10品目の取扱量の推移

資料：国土交通省「港湾統計年報」より作成 (甲種港湾のみ)

神戸港とつながる都道府県から出荷される製造業出荷額の変遷

○ 神戸港に国際フィーダー航路を有する都道府県の製造業出荷額を見ると、非鉄金属、機械器具の製造が大きく伸びていることがわかる。

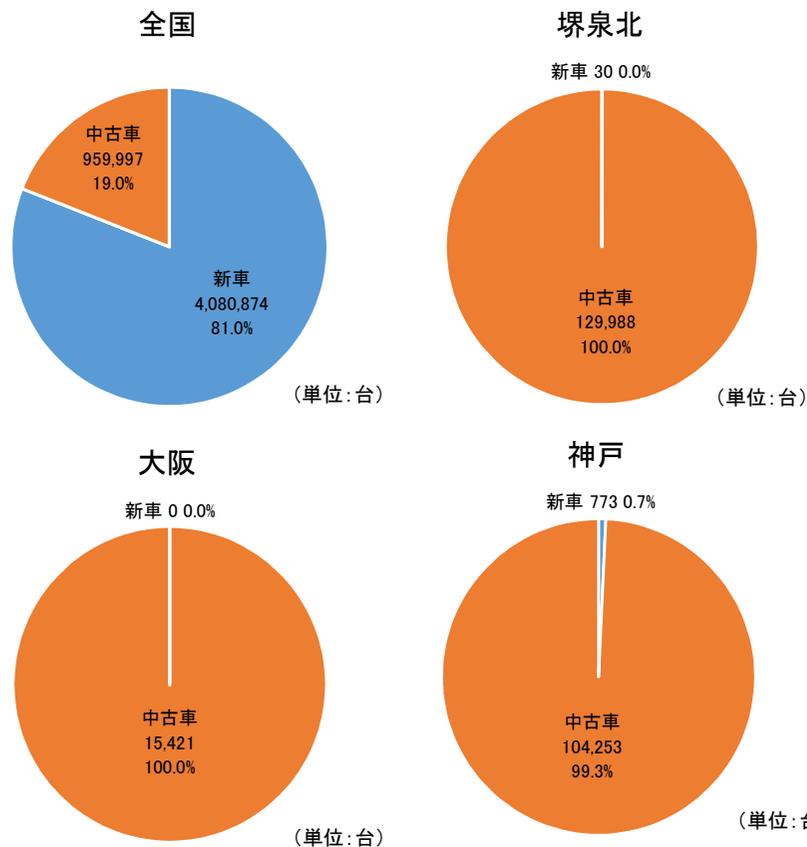


※情報通信機械器具製造業は2004～2007年には旧分類「電子部品・デバイス製造業」の値を含む。
 ※(旧)一般機械器具製造業は分類改訂で4業種(生産用/業務用/はん用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業)に分かれたため、2010年以降の値は、4業種を単純合算した値。

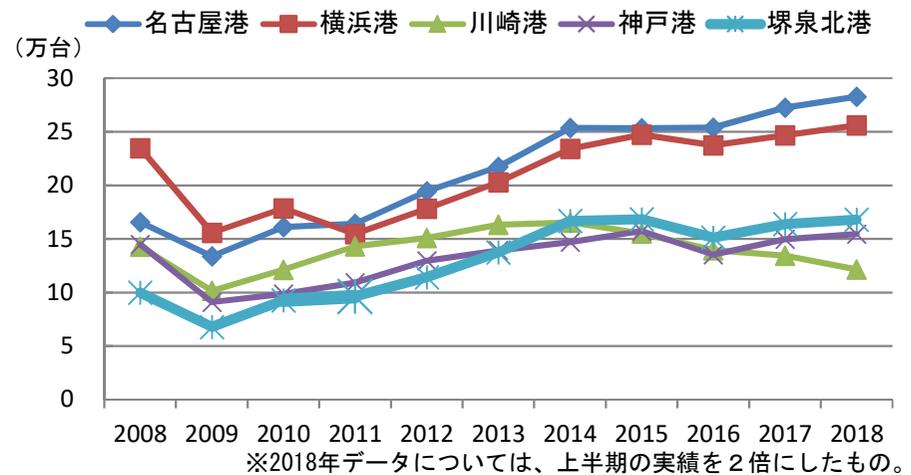
神戸港利用圏内とは2018年時点で神戸港と国際フィーダーで接続されている以下の都道府県を指す。
 関西(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
 四国北部(徳島・香川・愛媛)
 中国地方全域
 九州(福岡・大分・宮崎)

- 中古自動車輸出の主要5港の輸出台数は、2009年以降、増加傾向で推移。
- 大阪湾各港は全国と比較した際、新車と比べ、自動車輸出に占める中古自動車の割合が高く、中古自動車輸出産業の重要性が高い。
- 港別のシェアは、大阪湾港湾が全国の輸出全体の約 1 / 4 を占め、大阪湾内では、堺泉北港が50%、神戸港が45%を占めている。特に、堺泉北港では、オークション会場や輸出検査場などの施設が充実しており、効率的な輸出拠点の形成が重要となっている。

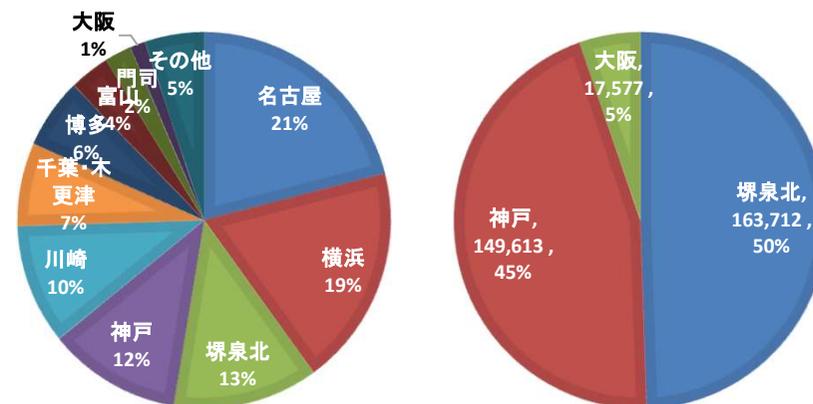
【新車・中古車別自動車輸出台数（2016年）】



【主要5港 輸出中古自動車取扱状況】



【中古自動車輸出台数港別シェア（2017年）】



資料：貿易統計（財務省）